

## TTA レポート (NO.110)

この110号で井村からの「TTAレポート」は完了し、神山新理事長にバトンタッチ予定です。最終的には今度の理事会・総会で決定となりますが、TTAのホームページは、「TTAは勿論ですが、栃木県体育協会、KTA(関東テニス協会)、JTA(日本テニス協会)の動きにつき、幾らかでも皆様の参考になるようレポートを掲載したいと思います。」という趣旨で始めました。

今後は、神山新理事長から2ヶ月に一回「TTAレポート」が報告されると思います。ご期待下さい。

### 1、2017年度の事業方針(2016年度実績)

#### 2017年度の事業方針(2016年度実績)

##### .....2016年度の実績と反省.....

- 1、TTAの収支面の透明性、健全化の推進、情報共有の推進し、更なるスピードのある決断と実践
- 2、参加し易い土壌作りのため、大会実施方法の日々見直しと改善 ダブルスの参加者増を
- 3、「とちぎジュニアオープン」の更なる定着化。高妻先生・笠原先生によるメンタルヘルスのジュニア教育の徹底
- 4、ジュニア育成強化基金80万円を計上し、更なる推進。
  - ・2016.12.20 JTAによる会場正規視察----①屋根の事務室の恒久化 ②県Gの6面のナイターの恒久化 等を要望。県には、その決断と実行力に期待。
- 5、JTA後援の楽天キッズテニス支援プログラム「テニスPLAY+STAY」のレッド・オレンジ・グリーン ボールによる推進。各地区協会との連携による実施
- 6、2016年度事業推進と予算に感謝。

##### .....2017年度の事業方針.....

- 1、TTAの収支面の更なる透明性、健全化及び情報共有の推進。スピードのある決断と実践
  - ・TTAデータベースの構築、機械化の推進
  - ・JTA「テニス環境等調査委員会」と連携し、環境【温暖化防止チーム・マイナス6%運動】TTAとしても、「自分のゴミ+One運動+エコキャップ」を実施します。自分のゴミと周りに落ちているゴミの持ち帰り運動の推進
- 2、参加し易い土壌作りのため、大会実施方法の日々見直しと改善  
ダブルスの参加者増を----女子連との連携
- 3、TTA組織体制の充実と共に、2017年度予算の必達、一丸となって更なる努力を。
- 4、障害者スポーツの積極的支援(ブラインドテニスダブルス大会、聴覚障害者スポーツテニス大会他
  - 5、2022年栃木国体目指し、次代を担うジュニアの強化の実現、国体強化費補助金の有効活用及び透明健全化
    - ・SCUの養成計画の策定と実施、テニス国体会場地の整備要請及び整備計画への参画、
    - ・平成29年度強化事業等に係る各種調査の推進
    - ・関プロ突破と共に、本国体ベスト8以上を目指す
- 6、テニスP&Sの地区協会中心の推進 JTAの補助活用、TTAのバックアップ
- 7、栃木県クラブ対抗戦の推進(KTA4県対抗交流戦)

### 2、3/24(金) 13:00~15:10 JTA評議員会(赤羽の味の素NTC) 井村出席(栃木自宅10時発、16:50着)

尚早く着き、先日の野崎氏と会い、御礼と国体会場の要望書につき概要説明した。

1、出席者 JTA幹部役員+評議員68人中54人出席

2、畔柳会長挨拶

- ①原宿にある岸記念体育館がオリンピックとの兼ね合いで新国立競技場の近く移転決定で場所取りが大変で、この赤羽が会場となった。
- ②2016年度を振り返り、イ、まず錦織選手の活躍で、テレビ放映の効果 ロ、23億の規模で、-30M¥の赤字予算が+30M¥と、有明移転の一億を引き当てても黒字化できた。  
ハ、2017年度は22億、-87M¥の予算

③2016年度を振り返り7点

- イ、リオ五輪 銅。全員が一回戦突破      ロ、普及のテニスP&S、市町村レベルに、  
八戸・函館等県庁所在地以外に訪問、2011年を底に、テニス人口も4400万人と上向き。  
ハ、有明の青写真できつつあり。来年は使用できない。      ニ、テニスのプロ資格 事前研修の強化  
ホ、世界車椅子大会を昨年実施      ヘ、グローバル化---日仏テニス協力(レッドクレーの推進、豪も  
ト、フェアプレーの徹底      JTAのフェアプレーの向上の5つの原則  
①判定が難しい場合はグッド      ②アウト又はフォールトの判定は、はっきりとボール  
とラインに空間が見えた時      ③サーバは打つ前に、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス  
④ジャッジコールは大きな声で、ハンドシグナルも      ⑤コート外の人には、セルフジャッジに口出ししない

**以上を徹底のため、各県の大会要項に掲載を。**

- ④2016年度の反省      イ、指導者の養成を      ロ、中体連への加盟  
⑤今後4点に力点を入れる      イ普及と強化を育成を、特に指導者      ロテニスP&S  
ハ東京オリンピック 1.7億(+5千万)      ニ ジュニア特別強化  
⑥有明の対応、東アジアのテニスの連携      ⑦仏と豪との親密な連携  
⑧更なるフェアプレーの徹底

3、議案

- 第1号 平成29～30年度役員候補者の件      TTA実業団とも関係深い福井烈氏が専務理事に  
第2号 平成29年度事業計画書並びに収支予算の件  
第3号 平成30年度のためのジャパンオープン引き当てを行う件  
有明工事(29/11～31/7)に伴う、1億引当

4、報告事項

- ①規程改正  
②平成29～30年度分野別本部・委員会設置とその人事の件  
③平成29年度役員報酬の件  
④4ヶ年財務計画の件  
⑤フェアプレー向上の件  
⑥日仏テニス協力の件  
⑦東京オリンピック有明改修の件  
⑧2017. 9. 23 テニスの日の件      今年は20周年  
⑨平成29年度特定寄付金目論見書の件  
⑩英スポーツ医学誌発表研究の件      テニスは健康に有益、中高年スポーツに有益

以上評議員会終了後、懇親会実施。井村は欠席。

以上